

今年も開催決定！

滋賀を知る・みる・出会う

アートプロジェクトをつくりませんか？

まずは  
キックオフに  
参加して、詳細を  
チェック！

KICK OFF  
MEETING

2022年6月19日(日)14時-16時半

場所：日野駅 観光案内交流施設なないろ  
(滋賀県蒲生郡日野町内池894)

参加費：無料(要申込)

※詳しくは裏面をご覧ください。

地域×アートの  
視点に出会う  
ワークショップ！

DIRECTOR

野村 誠

GUEST

柳沢 英輔

ニシジマ・アツシ

谷口 未知

森 容子

びわ湖・アーティスト・みんなぐる2022『ガチャ・コン音楽祭Vol.2』(プロジェクトディレクター・野村誠)は、2021年に引き続き、近江鉄道(ガチャコン)が走る沿線を舞台に、鋳物づくりの伝統など先人の影響が色濃く残る地域を音楽とともにめぐるツアーライブを中心に開催します。そのアートプロジェクトと一緒に作るメンバー“ぐるぐる”を募集中。アートプロジェクトができるまでを、3回のワークショップやミーティングに参加しながら学び・体験します。人や出来事、場との出会いを通して新しい視点で地域の魅力に気づき、最後はそこから生まれるアイデアを形にすることを目標にしています。

\*“ぐるぐる”は、冠名にある“みんなぐる”(mingle=交わる)の「みんなでアートプロジェクトを仕掛ける共犯者(グル)になろう!」というメッセージから付けられた名称です。「ぐるぐる」と輪になって一緒に考える」や近江鉄道沿線を「ぐるぐる周遊しながら出会う」という意味が込められています。

応募締切

2022年7月10日(日)

プロジェクトメンバー“ぐるぐる”募集要項

定員

10名程度(応募多数の場合は選考あり)

参加費

無料(WSの開催会場までの移動交通費などは参加者負担)

対象 こんな人にオススメ!

- ・まちづくりや地域の活動に携わっている方、興味のある方
- ・新しい地域の魅力や、アート、アーティストの発掘に興味がある方
- ・文章を書くこと、デザイン、撮影、編集などメディアづくりに興味のある方
- ・地域コーディネーター、イベントディレクター、アートマネージャーなどを目指す方

参加条件

18歳以上で第1回~3回のWS、ミーティング(主にWSの前後に開催予定)、『ガチャ・コン音楽祭Vol.2』ツアーライブ運営(10月22・23日)にできるだけ参加可能な方を優先

申込方法

氏名(ふりがな)・年齢・住所・電話番号・メールアドレス・職業(学生の場合は学校名、専攻分野)・志望動機、参加可能なWSを下記QRコードの応募フォームに入力のうえ、送信してください。お申し込みいただいた方には、主催者からご連絡いたします。



応募締切日

7月10日(日)

問合せ先

(公財)びわ湖芸術文化財団 法人本部地域創造部  
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール内  
電話 | 077-523-7146 メール | biwako-a-mingle33@biwako-arts.or.jp

お願い

参加される方はマスク着用と検温等へのご協力をお願いします。感染症予防対策をはじめ、やむを得ない事情により、内容の変更または中止になる場合があります。

6月

キックオフ

キックオフミーティング

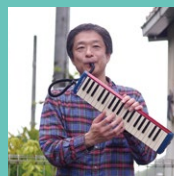
6月19日(日)14時-16時半

場所 | 日野駅 観光案内交流施設なないろ(蒲生郡日野町内池894)

参加費 | 無料 定員 | 20名 申込方法 | 氏名、電話番号をメールで左記問合せ先にお送りください。 申込締切 | 6月17日(金)

昨年開催した『ガチャ・コン音楽祭』を映像で振り返りながら、今年のプログラムやアイデアを公開ミーティング。「ぐるぐる」って何をやるの?といった疑問にお答えしながら、今年のテーマや目指すものについてディスカッションします。また、ディレクター・野村誠による『キックオフ上』も生披露。同時開催として、2021年に“ぐるぐる”に参加したメンバーによる「ぐるぐるカフェ」が出版。お気軽にご参加ください。

野村 誠 (作曲家・「びわ湖アーティスト・みんぐる」ガチャ・コン音楽祭)ディレクター)



1968年愛知県生まれ。ピアノ、三味線、ガムラン、オーケストラ、瓦、ブルなど、あらゆる音から音楽を生み出し、世界各地の人々と動物と交流する作曲家。日英共同の「ホエール・トーン・オペラ」監修、「千住だけじゃ音楽祭」音楽監督など、国内外で数多くのコミュニティプログラムを成功させる。2006年度NHK教育テレビ「あいて」番組監修。日本相模間芸術作曲家協議会理事。日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラムディレクター。著書に「音楽の未来を作曲する」(晶文社)ほか。



「びわ湖・アーティスト・みんぐる2022『ガチャ・コン音楽祭Vol.2』

- 実施時期 | 2022年6月~10月 実施場所 | 近江鉄道および沿線地域  
実施内容 | 1. プロジェクトメンバー“ぐるぐる”ワークショップ(7.17、8.7、9.24) / 各会場  
2. 車内放送歌合戦(10.1~10.31) / 近江鉄道900形車両  
3. ツアーライブ(10.23) / 東近江市鑄物師町・長町ほか

プロジェクトディレクター | 野村誠

プロジェクトコーディネーター | 永尾美久、野田智子(Twelve.Inc)

主催 | (公財)びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀

協力 | 近江鉄道株式会社

「第52回滋賀県芸術文化祭参加事業」

WEBサイト <https://biwako-mingle.art>

Twitter | @biwako\_a\_mingle Instagram | biwako.a.mingle

昨年の『ガチャ・コン音楽祭』の映像を公開しました→



WORKSHOP 01 トーク・フィールドワーク

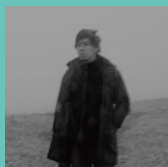
「場所の響きを観察する：フィールドレコーディングの世界」

7月17日(日)13時-16時

場所 | がりばん染校 (東近江市蒲生岡本町574)

ゲスト | 柳沢 英輔(音文化研究者・アーティスト)

ベトナムの金属打楽器ゴングの研究や、「フィールドレコーディング」を通じた音の文化を研究する柳沢英輔さんに、場所や空間の響きを観察・記録することから広がる土地の聴き方・見方についてお話を聞いたあと、実際にアートプロジェクトの舞台となる土地の音に耳を傾けてみます。鑄物師が多く住んでいたであろうこの土地の、視覚では気づくことのできない別の姿に出会うことができます。(\*動きやすい服装をお越しください。)



柳沢 英輔

東京都生まれ。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科修了。同志社大学文化情報学部助教を経て、現在、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科特任助教。主な研究対象は、ベトナム中部地域の金属打楽器ゴングをめぐる音の文化。場所の特徴的な響きに焦点を当てたフィールド録音作品を国内外のレーベルより出版。著書に「ベトナムの大地にゴングが響く」(灯光堂、2019年、第37回田邊尚雄賞受賞)、「フィールド・レコーディング入門―響きのなかで世界と出会う」(フィルムアート社、2022年)。

WORKSHOP 02 博物館鑑賞・トーク

「Sky fishing-目に見えない何かを感じて- / アートカイトの魅力」

8月7日(日)13時-16時

場所 | 世界風博物館 東近江大風会館 (東近江市八日市東本町3-5)

ゲスト | ニシジマ・アツシ(サウンドアーティスト・現代美術家)

実験音楽、インスタレーション、平面、立体など、様々なメディアによる作品制作をおこなうニシジマ・アツシさんの、主に風にまつわる作品群について、世界の風が一堂に揃う「東近江大風会館」の見学を通してご紹介いただきます。またニシジマさんが風の作品をつくるきっかけにもなった展覧会「芸術風」(1988年/滋賀を含む国内外の美術館で開催)における「八日市風」とアートの関係から、地域とアーティストとの協働についても紐解きます。



ニシジマ・アツシ

80年代後半より実験音楽の制作、ライブ・エレクトロニック・ミュージックによる演奏を始める。その後、音を持つ様々な側面と日常の事象をユーモラスに類推・同定して発想したヴィジュアル作品の制作も始める。2001年 Asian Cultural Council の助成によりニューヨークに滞在し、Location Oneにて個展、そしてライブ演奏を行っている。2014年には文化庁新進芸術家海外研修制度にてベルリンに滞在し、作品制作・演奏を行うなど、現在も国内外を問わず積極的に活動をしている。

WORKSHOP 03 トーク・うたづくり

「仕事うた〜営みを歌う」

9月24日(土)13時-16時

場所 | ギャラリー&カフェ école (東近江市八日市清水2-11-8)

ゲスト | 谷口 未知(音楽ユニット「バカがミタカタ」世界|ヴォーカル) / 森 容子(元博物館学芸員)

田園風景が広がる近江鉄道沿線地域には古代大陸から渡ってきた人々によって様々な技術や文化が多く伝えられてきました。その歴史や文化を知る手がかりにもなる「仕事歌」。本WSでは鑄物師らによって歌い継がれた《たたら節》について、森容子さんのお話を出発点にし、土地の「仕事歌」とその背景に思いを巡らせながら、実際に歌をつくります。最後には谷口未知さんの歌声と共にそれらの歌をじっくりと味わってみたい。



谷口 未知

滋賀県出身、在住。大阪音楽大学短期大学部卒業。音楽ユニット「バカがミタカタ世界」で作詞作曲・歌唱を担当。音楽×映画の祭典「MOOSIC LAB [JOINT]2020-2021」への参加、舞台・ファッションブランドの展示会での楽曲制作など活動の幅を広げている。

森 容子

日本の伝統文化に魅せられて学芸員を志す。大阪文化財センター、旧湖東町、東近江市で31年間文化財保護と学芸員の仕事に携わる。歴史民俗分野の調査研究を通して得た「地域の文化を大切にしたい」ための活動を続けている。特定非営利活動法人暮らしと文化研究所理事、東近江江州音頭普及愛好会理事。

◎“ぐるぐる”が目指すものとは?

地域イベントやアートプロジェクトを裏で支えながら、地域の文化や魅力をリサーチし、それらを活かす方法やアイデア、ネットワークを生み出すことができる人材を目指しています。3回のWSとは別にアートプロジェクトを実現するまでに必要なミーティングへの参加、現地視察、勉強会、プロジェクトの広報活動、当日のイベント運営など、実践的な活動が出来る場を設けています。(\*ミーティングの日時、活動場所、頻度などは参加者メンバーと相談の上決定いたします)

◎“ぐるぐる”に参加するとどんなことができるの?

「ガチャ・コン音楽祭」のツアーライブと一緒に企画・運営します。お客様にイベントをより楽しんでもいただくためのフォローアップ企画や、参加アーティストのインタビューや作品紹介を盛り込んだ、本プロジェクトをより多くの人に楽しんでもらうためのメディアをつくりたい。参加メンバーのアイデアやスキルを活かして出来る企画やメディアは、当日のイベント会場や近江鉄道沿線、ウェブ上で公開・配布されるものとなります。

10月

車内放送歌合戦・ツアーライブ

9月

第3回WS

7月

第1回WS